Panasonic

特定保守製品

# バス換気乾燥機　工事説明書

| 品　番 | FY-24UWL5　FY-24UWYL5-W |
|---|---|

工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
・工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

### 特定保守製品に関するお願い

■本製品は、消費生活用製品安全法で定められた「特定保守製品」です。
■特定保守製品とは、「経年劣化により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況からみてその適切な保守を促進することが適当なものとして政令で定めるもの」です。
■**付属の取扱説明書と所有者票（黄色の封筒に入っています）は、特定保守製品取引事業者またはお客様（消費者、賃貸業者等の所有者）に必ずお渡しください。**
消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は、特定製造事業者等に対して、所有者情報を提供する責務が定められています。

## 安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 |
| ⚠注意 | 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

| | |
|---|---|
| ⃠ | してはいけない内容です。 |
| ❗ | 実行しなければならない内容です。 |

### ⚠警告

**禁止**
■内釜式風呂を設置した浴室に、取り付けしない
（排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因）
■可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置はおこなわない
（発火の原因）
■絶対に分解や修理、改造はしない
（火災・感電・けがの原因）

■工事は、この工事説明書および「電気設備技術基準」「建築基準法」「各都市の条例」に従って確実におこなう
（水漏れや感電、火災の原因）
■メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトが貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と電気的に接触しないように絶縁処理を施す
（感電や火災の原因）
■配線工事、電源接続工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「電気工事士」が確実におこなう
（感電や火災の原因）
■アース工事は電気設備技術基準に関連する法令・規程などに従って必ず「電気工事士」によるD種（第三種）接地工事をおこない、専用の漏電ブレーカーを設置する
専用の漏電ブレーカーは、過電流保護兼用で定格電流20A、高感度高速形(定格感度電流15mA・動作時間0.1秒以下)のものを選んでください。
（故障や漏電のときに、感電の原因）
■電源電線は確実に固定する
（揺れによる摩擦で被覆が破れた場合、感電や火災の原因）
■電源電線の接続は確実におこなう
（火災の原因）
■必ず交流200ボルトで使用する
（感電や火災の原因）
■衣類吊り下げ用パイプは、本体から150mm離し、下側に115mm離す
（製品に近づけすぎると、衣類の変色や火災の原因）

### ⚠注意

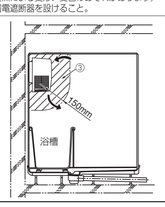
**禁止**
■温泉水、温泉成分を含んだ入浴剤を使用しない
（変色、腐食などにより、性能および耐久性を著しく損なう原因や、ひび割れや落下してけがをする原因）
■ファンやヒーターに触れたり、指や棒を入れない
（けが・やけどの原因）

■部品の取り付けは確実におこなう
■取り付け作業時には必ず手袋をはめて作業する
■本体は指定の方法で確実に取り付ける
■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する
（けがの原因）

### お願い

■製品本体は傾かないよう（水平）に設置してください。
ヒーターの寿命を縮めたり、故障の原因になります。
■浴室の広さは、以下をめやすとしてください。
ユニットバス1.5坪タイプ（内寸1.6m×2.4m）まで、在来工法浴室1.5坪タイプ（内寸1.6m×2.4m）まで
1.5坪を超える浴室および、下記①～④の浴室では、**室温がほとんど上昇しないことがあります。**
①窓が大きいとき　②浴室の容積が大きいとき
③タイル貼りの面積が大きいとき
④その他、浴室の断熱性や断熱性が悪いときなど
■ベンジン・シンナーなどの有機溶剤を使う場所に取り付けないでください。
故障の原因になります。
■製品の取り付けには下記のような規制を受けますのでご確認ください。
地域によっては、火災予防条例にもとづく指導が異なる場合がありますので、所轄の監督官庁にてご確認ください。

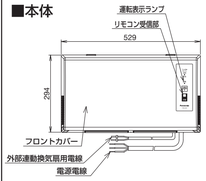
| | |
|---|---|
| 設置時の条件 | ①設置場所は戸建住宅（アパート、マンションなどの集合住宅は除く）の浴室に限ること。<br>②本体は壁面に堅固に取り付けること。<br>③浴室内への温風吹出口および空気吸込口の前方150mm未満の範囲内には、造営材など（乾燥する衣類、照明器具、手すりを含む）を設けないこと。<br>（熱による変形、変色のおそれがあります）<br>④漏電遮断器を設けること。 |

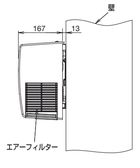



■このバス換気乾燥機の質量は7.7kgあります。
■一般家庭の浴室に取り付けてください。
■温泉または温泉を取り込んだ浴室に取り付けないでください。
■スチームサウナ・ミストサウナ付の浴室に取り付けないでください。
■油煙の発生する場所に取り付けないでください。
■スプレーを使う場所に取り付けないでください。
■高温になる場所（周囲温度40℃以上）に取り付けないでください。
■本体は、テレビ、ラジオ、無線機およびそのアンテナ線から0.5m以上離して施工してください。
■工事の際に、製品本体内部へ石こうボードの粉などの侵入がないようにおこなってください。
■樹脂製部品取り付けの際は、ねじを締めすぎて製品を破損させないよう、締付トルクに十分注意してください。
■効果的な換気のため、給気口を必ず設置してください。
■本体、ワイヤレスリモコンは直射日光や蛍光灯の近くなどの強い光が当たる場所に設置しないでください。
■衣類吊り下げ用パイプを購入されるときは必ず1本当たり5kg以上の重量に耐える不燃性と耐食性の品物を選んで取り付けてください。
■衣類吊り下げ用パイプの取り付け位置は、必ず推奨位置で取り付けてください。
（推奨位置以外で取り付けますと、乾燥時間が長くなります）

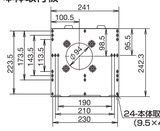
## 各部の名称と寸法　お願い　この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

■本体

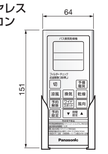



本体取付板　単位：mm

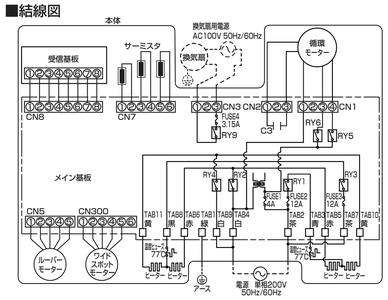



■ワイヤレスリモコン




**FY-24UWL5, FY-24UWYL5-Wと連動できる換気扇の条件**
①AC100Vで風量切換がないこと。
②引ひひも式専用スイッチでないこと。
③**消費電力が4～50Wであること。**
④**バス換気乾燥機と換気扇を結ぶ結線の合計長さが、同梱の外部連動換気扇用電線を含め、4m以下の範囲にあること。**
※既存の換気扇はリモコンで操作できます。その場合既存の換気扇スイッチは使用できなくなります。
**連動する浴室用換気扇のおすすめ例**　天井埋込形／FY-17C7, FY-24C7　パイプファン／FY-12PTU8, FY-12PTS8　壁埋込形／FY-13U2

■結線図




■所有者票セット
……1セット
（フロントカバー表面に付属）
（必ず特定保守製品取引事業者またはお客様にお渡しください）

■保証書……1
（FY-24UWYL5-Wのみ。FY-24UWL5は取扱説明書の最終ページに付属）
（必ずお客様にお渡しください）

■付属品　末尾の数字は数量をあらわします。

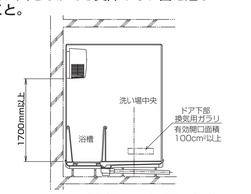
タッピンねじ（φ4×50）……6
（本体取付板取り付け用）
タッピンねじ（φ4×16 黒）…2
（本体取り付け用）
タッピンねじ（φ4×16）……2
（リモコンホルダー取り付け用）
（リモコンホルダー裏面に付属）
差込形コネクタ……5
（電線接続用）
キャップ……5
（電線接続用）
棒端子……2
アルミテープ……3
（本体取付板の端面貼り付け用）
取扱説明書……1
（必ずお客様にお渡しください）
工事説明書……1
（必ずお客様にお渡しください）
取付設置業者様へのお願い……1
乾電池（単4形）……2

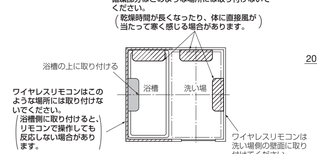
■現場で用意してください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 漏電ブレーカー | 過電流保護兼用で定格電流20A、高感度高速形（定格電流15mA・動作時間0.1秒以下） | | |
| 電源電線 | VVFケーブルφ1.6または2 | 適宜 | |
| アース線 | 銅線直径φ1.6以上（または断面積が2mm²以上） | 適宜 | アース工事用 |
| アース棒 | | 適宜 | |
| 防水ジョイントボックス | WJ4100（パナソニック(株)製）相当品（外壁で電線を接続する場合） | 1個 | 電源接続用 |
| ジョイントボックス | WJ3107（パナソニック(株)製）相当品（天井裏で電線を接続する場合） | 1個 | |
| 衣類吊り下げ用パイプ | 耐荷重5kg以上　ステンレス製などのさびにくいもの | 適宜 | 衣類乾燥用 |
| 合成樹脂管 | 内径φ40以上の塩ビ管など | 適宜 | 電源取出用 |
| ケーブル用モール | （天井裏で電線を接続する場合） | 適宜 | |
| アンカープラグ | ボードファスナー（サンコーテクノ製）下表相当品<br>BS TYPE / BS-405 / BS-409 / BS-416<br>適用板厚 / 1～5mm / 3～9mm / 10～16mm | 適宜 | 本体取付板固定用（ユニットバスなど、中空構造壁の場合） |
| シリコンコーキング材・パテなど | | 適宜 | コーキング用 |
| ロングドライバー | | | 循環部分取り付け用 |

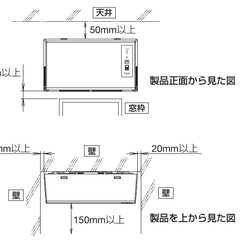
## 1　設置位置の決定

1.背後の浴室壁面または浴室天井面に、電源電線および外部連動換気扇用電線を取り出すための貫通穴をあける。
取り付けには、必ずお客様の了承を得て、穴をあけても支障のない面を選ぶこと。



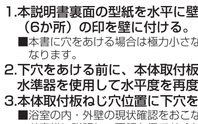

2.本体の周囲に適切なすき間があること。
さらにこの範囲には造営物（照明器具・手すりなど）を設置しないこと。
（確保できない場合は、性能を十分に発揮できなかったり、浴室壁面、造営物を熱によりいためることがあります。）
■製品天面から天井面まで、50mm以上
■製品左側面から壁面まで、20mm以上
■製品右側面から壁面まで、20mm以上
■製品正面から150mm以上離す
■本体と窓枠は、50mm以上
■窓枠は壁面より15mm以下の出っ張りであること
壁面の耐熱温度が低い場合は、上記以上に壁面と本体の距離を確保してください。

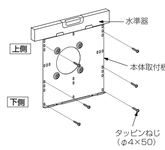



3.ワイヤレスリモコンは本体受信できる位置に取り付ける。
（製品を取り付けている壁面への設置はしないでください）

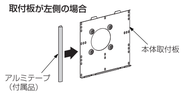
## 2　本体取付板の設置

1.本説明書裏面の型紙を水平に壁にて、本体取付板ねじ穴位置（6か所）の印を壁に付ける。
■本書に穴をあける場合は極力小さな穴にしてください。穴により詰みづらくなります。
2.下穴をあける前に、本体取付板を印を付けた穴位置に合わせ、水準器を使用して水平度を再度確認する。
3.本体取付板ねじ穴位置に下穴をあける。
■浴室の内・外壁の現状確認をおこない、タイル・壁等が損傷している場合には、お客様に説明し、了解を得ておくか、事前に補修をおこなっておいてください。
■タイルやタイル目地での下穴あけについては、タイルを破損しないよう十分注意してください。
■ねじ締め前に下穴の周囲にシリコンを塗布してください。
■下穴径は、壁面の材質に合わせてあけてください。
4.本体取付板を浴室の壁にタッピンねじ（6個）で取り付ける。
■この製品は循環部分で7.3kgあります。本体取付板は壁面に、また確実に浴室の壁に密着するように取り付けてください。
■特に、ユニットバス等、中空構造壁の場合、市販のアンカープラグ〔サンコーテクノ(株)製ボードファスナー　BS TYPE〕などを使用して、確実に取り付けてください。
■水準器などで水平を確かめてから取り付けてください。
■本体取付板を右側、左側に取り付ける場合は、取付板端部を覆うように付属のアルミテープを貼り付けてください。

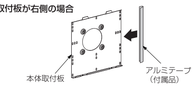



取付板が左側の場合




取付板が右側の場合

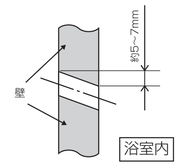



5.本体取付板を取り付け後、本体取付板周囲（下辺を除く）およびねじ止め部をシリコンにてコーキングする。
■水抜きのため下辺はシリコンコーキングしないでください。

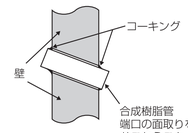
## 3　電線取出穴をあける

**外壁で電線を接続する場合**

1.本体取付板の丸穴（φ94）内の適当な位置に電線取出穴をあける。
■電線取出穴は壁裏センサーを用いるなどして、壁裏の間柱、筋かい、ユニットバスの補強桟などを回避してください。
■電線取出穴の穴径は、使用する合成樹脂管（内径φ40以上）の外径に合わせてください。
■浴室から水漏れ防止のため、電線取出穴に右図のように勾配をつけてください。




2.電線取出穴に市販の合成樹脂管（内径φ40以上）を通し、コーキングで固定する。
■合成樹脂管は、コーキング代として、壁厚より10～15mm長く切断してください。また、切断した端面は、リーマーなどで端口の処理をおこなってください。



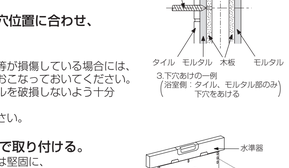

**天井裏で電線を接続する場合**

1.天井面の壁面に近い適当な位置に電線取出穴をあける。
■電線取出穴の穴径は、φ40であけてください。

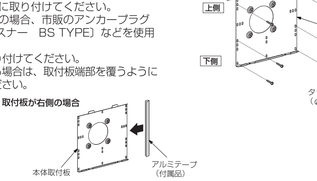
## 4　本体の取り付け

**外壁で電線を接続する場合**

1-1.本体の引っ掛け穴を本体取付板のツメに引っ掛ける。そのままの状態で本体の電源電線と外部連動換気扇用電線を合成樹脂管に通す。
■本体取付板の丸穴（φ94）の端面で電源電線および外部連動換気扇用電線を破損しないよう十分注意してください。




1-2.湿気やすき間風などが漏れないよう、合成樹脂管の浴室側をパテなどで仕上げる。
■合成樹脂管からVVF線が見えている場合は、結束バンドを切って、コルゲートチューブを合成樹脂管の中に入れ、VVF線を必ずカバーしてください。



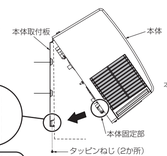

**天井裏で電線を接続する場合**

1.本体の引っ掛け穴を本体取付板のツメに引っ掛ける。

**共通**

2.本体固定部を本体取付板の上側に差し込み、本体を固定する。

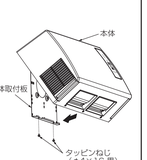
お願い
本体固定部が本体取付板の上側に入っていないと固定できません。




3.本体取付板と本体を付属のタッピンねじ（2個）で固定する。

お願い
忘れずに必ず固定してください。（ロングドライバーにて手締めで取り付けてください）

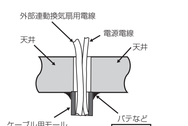
お願い
循環部分の奥にあるのでフロントカバーの切り欠き部を参考に位置確認をしてください。




**天井裏で電線を接続する場合**

4.電源電線および、外部連動換気扇用電線を天井裏へ通し、浴室内に露出している電源電線および外部連動換気扇用電線をケーブル用モール等で覆う。

5.湿気やすき間風などが漏れないよう、天井にあけた穴の浴室側をパテなどで仕上げる。

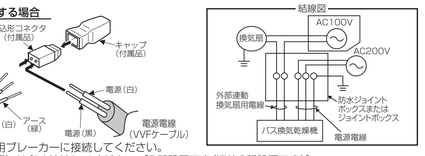



## 5　電源の接続

**共通**

1.ジョイントボックス（市販品）の中で、電源電線（アース線含む）および外部連動換気扇用電線を付属の差込形コネクタを使い、右下の結線図に従って結線する。
2.差込形コネクタに付属のキャップを奥までかぶせる。(5か所)
連動する換気扇を接続しない場合も、外部連動換気扇用電源先端の差込形コネクタは取り付けた状態で、付属のキャップを奥までかぶせてください。

**電源電線（黒）を接続する場合**

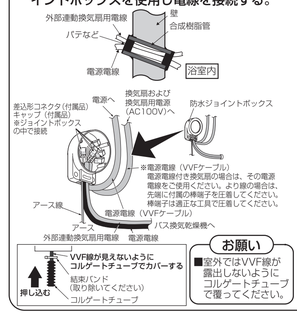



■電源は必ず分電盤の専用ブレーカーに接続してください。
■電源電線のアース線（緑）は必ず接続してください。[D種接置工事(旧第3種設置工事)]
■現場配線電線はVVFケーブルφ1.6またはφ2を使用してください。
細い心線の電源電線を使用すると、発熱により発火のおそれがあります。
■外部連動換気扇用電線は途中で切断しないでください。
■換気扇のアース線は絶対にはずさないでください。
■プラグは使用しないでください。
■電源は必ず単相200Vを使用して、各電源電線先端の棒端子は付属の差込形コネクタの奥まで確実に挿入してください。間違った電源を使用したり不十分な配線をすると、火災や故障の原因となります。
■換気扇用壁スイッチは使用できなくなりますので、スイッチカバー等でふさいでください。
■電源電線はバンドなどで束ねて収納しないでください。発熱により発火のおそれがあります。

**外壁で電線を接続する場合**

必ず防水タイプのジョイントボックスを使用してください。

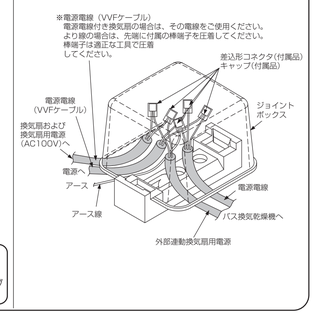
3.湿気やすき間風などが漏れないよう、合成樹脂管の外壁側をパテなどで仕上げ、防水ジョイントボックスを使用し電線を接続する。




お願い
■室外ではVVF線が露出しないようにコルゲートチューブで覆ってください。

**天井裏で電線を接続する場合**

3.ジョイントボックスを使用し電線を接続する。

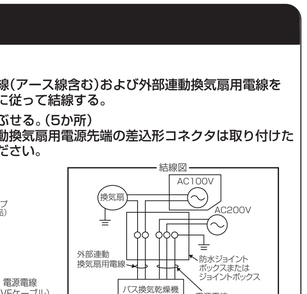



## 6　ワイヤレスリモコンの取り付け

1.取り付け位置を決定する。
■ワイヤレスリモコンには約300mmのチェーンが付いています。（取り付け位置はお客様とご相談のうえ決定してください）

**浴室外設置の場合**
■浴室のドアを開けてワイヤレスリモコン受信部に向けて無理なく操作できる位置に設置してください。

**浴室内設置の場合**
■シャワーなどの水がかかりにくい場所（シャワー栓の反対側など）に設置してください。
■浴槽の上は避けてください。
■取り付ける高さは浴槽より650mm以上高くしてください。
■洗い場側の壁面に取り付けてください。
（製品を取り付けている壁面への設置はしないでください）




お願い
■電池ふたを開閉するときはメダルなどを使用してください。ドライバーを使用するとロックが破損する可能性があります。
■電池ふたのロックは表示されているマークの範囲位置を超えないように回してください。

2.リモコンホルダーを付属のタッピンねじ（2個）で固定する。
■取り付け位置が右こうボードやタイルなどの場合、ねじが取り付かないことがありますので、その際は市販のアンカープラグを使用してください。
■浴室内設置の場合はねじ穴は必ずシリコンでコーキング処理をおこなってください。はみ出したシリコンコーキング材は拭き取ってください。

3.ワイヤレスリモコンに電池を入れる。

## 7　衣類吊り下げ用パイプの取り付け

右記の位置に、衣類吊り下げ用パイプ（市販品）を取り付ける。
■衣類吊り下げ用パイプを購入されるときは必ず1本当たり5kg以上の重量に耐えるステンレス製などのさびにくい品物を選んで取り付けてください。
■衣類吊り下げ用パイプの取り付け位置は、必ず推奨位置で取り付けてください。（推奨位置以外で取り付けますと、乾燥時間が長くなります）
■推奨位置に取り付けできない場合は、取り付け範囲の位置へ取り付けてください。（ただし、乾燥時間は長くなります）

単位：mm

## 8　試運転

取扱説明書の「使いかた」のページを参照し、試運転をおこない異常がないか確認する。
異常についての内容、処置については取扱説明書の「故障かな!?」のページを参照する。
■引き渡しまで期間があく場合は、試運転確認後、リモコンの電池を抜き、取扱説明書とともにお客様にお渡しください。

## 9　確認事項のチェック

右記の確認表に従い、確実に施工したかを再度確認してください。施工できていれば✓チェックを記入してください。

| チェック内容 | チェック欄 |
|---|---|
| 製品はしっかり取り付けていますか？ | |
| 製品と壁面および造営物の間に適切なすき間がありますか？ | |
| 衣類吊り下げ用パイプの取り付け位置は正しいですか？ | |
| 異常音はありませんか？ | |
| 電源電線・アース線の接続は確実ですか？ | |
| 電源は単相200Vに接続されていますか？（AC100Vに接続されると動作しません） | |

※チェックが終了したら工事説明書（本書）、取扱説明書、保証書、所有者票セットをお客様へお渡しください。
（保証書はFY-24UWYL5-Wのみ。FY-24UWL5の保証書は取扱説明書の最終ページにあります）


パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番　TEL(0568)81-1511


©Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2013


24UW54250 L-P0413-0

# 取付用型紙

工事の際、壁面に貼り付けてご使用ください。（浴室内から見た図になっています）
なお、この型紙の寸法は湿気などにより変化しますので、寸法を確かめてご使用ください。